

オハママソ その2



優しい出逢いと暖かい温もりが向まれ
心は解放され癒されます。

ケアラースカフェ モンステラ を訪問
ケアラーさんの集える場所

2月28日(火) 正午頃、

近頃いろいろと迷ってしまっている、

結局ご主人(山田豊徳さん)に

迎えて来てもらい、ようやくモンステラに到着。

私達を待ち受けていた皆さんから、とっさにと促され
家の中に足を踏み入れると、そこは別世界！メルヘンチックなおとぎの世界が広がっていた。奥のテーブルとイスで8人の方が、明るい笑顔でインタビューに応じてくれた。



モンステラ



マスクの下にはみなさんの笑顔が♪

勢だから値上げしない方がいいのかと心配「なごの感想を伺っているよ、こんな素敵なカフェを運営しているのはどんな方なのか、お人柄をぜひ詳しく知りたいと思った。」

2018年11月1日 相模原市で初めてケアラースカフェをオープンさせた山田美子さんの紹介。



由美子さんは風邪も引けないという思いから、長い孤独な介護生活の疲労がたまりうつ病を発症。さらに大腸がんの手術も受ける事態になり、毎日病気のよう

ばかり考えるようになっていた。そんなある日、友人に誘われてハワイに行き澄台谷台地に立つと、地球は丸いことを実感し感動！ またハワイには入院・治療を受けた人が入院を終えて帰宅する前に、ケアラー(家族介護者)が受け入れるにはどうすればいいか、講習を受け学ぶ機会があるというところを知り、自分にも病気に向き合っただけでなく、他にやれることがあるのではないかと思っようになった。しかし、外に出ていくのは体力的に大変だから、逆に皆さんに来ていただけるような場所を作ればいいと考え、ちょうど定年を迎えたご主人の共感を得て、二人で今の雰囲気仕立てたカフェを開くことにした。人が本当に来てくれるのか心配だったが、誰も来ない日は天気の良い一日と、新型コロナの最初の緊急事態宣言が出て休んだ時だけだった。10畳の洋室だけで始め、人が増え奥の部屋も解放し今に至っている。自分のようにケアをしている人達(ケアラー)が、悩みを相談したりストレスを発散して癒されて欲しいと願い、自分のためになるからと始めたのだが、今では自分たち二人同様、来訪する人達にも豊かな幸せを与えてくれる場所になったことが、なにより嬉しいと、目をきらきら輝かせ、優しい口調で話してくれた。

ちなみに、モンステラとは植物の名で、花言葉は「希望の光を導く」。

こんな童話の世界が現実存在するという驚きと帰りたいか、ずっといたいという居心地のよさはどこからくるのか。その上に、自分の中に眠っていた童心を自覚めさせてくれたという不思議な体験をした。ことばでは言い表せないのが、皆さんとぜひ行って自分も味わって欲しいもの！ (恒藤・山崎)

ケアラースカフェ モンステラ

252-0321 相模原市南区相模台2-20-8
TEL&FAX 042-749-8527

OPEN 10:00~16:00
毎週 火曜日・土曜日

火曜日 焼きたて「がんばろうパン」
11:30より販売開始
土曜日「お楽しみ600円ランチ」
12:00より販売開始



パンの種類も豊富!
1個80円です!!

前日午前中までに電話予約をお願いします。
*パン・ランチとも売り切れ次第終了となります。
都合によりお休みさせていただく場合があります。
詳しくはHPをご覧ください。
*ケアラースカフェ モンステラは市民活動団体です。

童話の世界に入りこんだようなお部屋



ドアを開けるとお雛様がお出迎えを!

